

いのちの言の葉2011

富山県教育委員会平成23年度いのちの教育総合支援事業

「死から生きるということを考えよう」

富山市立神通碧小学校

平成23年11月17日実施

【いのちの先生】

中田 達也先生

・医師 中田整形外科病院院長

【授業の概要】

- 1, 「脳死」「心臓死」「移植問題」についての話を聞き、「死」から「生きるということ」を考える。
- 2, いのちを大切にすることは、自分や他人を大切にすることであり、相手の立場になり、できることをしていこうという話を聞く。

「命を大切にすること」は「自分を大切にすること」、「自分を大切にすること」は「他人を大切にすること」、「他人を大切にすること」は「相手の気持ちになってかんがえること」と分かりました。この言葉を忘れずに、これからも、いのちをしっかりと守って生きていきたいと思いました。

私は、「死」と聞くと、誰にでもおとずれ手しまう、悲しくてこわいことと思っていたので「死」とは反対の「生」については、あまり考えていないなと思いました。今日のいのちの授業では、自分が病気にならず、元気に生きていると言うことは、ふつうではなく感謝しないといけないんだということが分かりました。これからも元気に生きていることに感謝し、あいさつもしっかりとしたいと思います。

話を聞いて、生きているって幸せだなあと思いました。そして、他の人のことも考えて助けることも大切とわかりました。これからは、人の気持ちも考えていきたいです。

